

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CEDCE13230		10	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	前学期	木4	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00417001	琉球民俗学特論 I	2	
担当教員[ローマ字表記]			
高橋 そよ [Soyo Takahashi]			

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

2025年度の授業について

★受講生の皆さんへ★

【重要：2025年度の授業形態について】（2025年3月15日）

2025年度は、対面と遠隔（オンライン）を併用（ブレンド方式）とした面接授業とします。

受講生のみなさんの大学メールにteamsの「チームコード」を送ります。

受講生は、チームコードを確認し、前日までに登録してください。

第1回目のオリエンテーションは、教室で行います。

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

これまで蓄積されてきた琉球民俗学の研究成果や方法論を再考し、琉球民俗学が扱ってきた民俗事象の理論的展開と、日本民俗学における琉球民俗学の位置付けを理解する。そして、現代における琉球弧の民俗文化の多様さや動態、文化継承が直面する諸課題を検討し、みずから研究課題を設定するための多角的な視座を涵養することをめざす。琉球民俗学の現在を検討するために必要な先行研究や方法論を学ぶための輪読を中心に行なう。

URGCC学習教育目標

専門性

達成目標

琉球弧における民俗学的研究の議論と課題を理解できるようになる。

オリジナルのデータをもとに、自分の考えを論じることができるようになる。

評価基準と評価方法

各回の課題学習・討論（40％）と発表（60％）を総合的に評価します。

履修条件

授業計画

第1回 オリエンテーション
第2回～第14回 各自の発表・議論
第15回 全体のまとめ。

事前学習

事前学習においては、まえもって配付される発表用の論文を読んでおくこと。

事後学習

事後学習においては、発表内容やゼミでの討論内容について、整理を行うこと。

教科書にかかわる情報

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書	書名	沖縄・素潜り漁師の社会誌：サンゴ礁資源利用と島嶼コミュニティの生存基盤			ISBN	978-4-86187-149-8	備考	
	著者名	高橋そよ著						
	出版社	コモンズ	出版年	2018	NCID			

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

オフィスアワー

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL